

研究所だより

第469号
2024年 3月21日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ 白い光の中に 山並みは萌えて 遥かな空の果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ 自由を駆ける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼にこめて希望の風に乗れ この広い大空に夢をたくして ”

『旅立ちの日に』



1991年（平成3年）埼玉県秩父市立影森中学校の教員に
よって作られた合唱曲
〔作詞：小嶋 登（校長） 作曲：坂本浩美（音楽教諭）〕



“ 笑い声は時代を超え、想像力は年を取らない。そして、夢は永遠のものだ ” ウォルト・ディズニー
.....

~希望に満ちた春がやって来ました！~

桜の便りに心弾ませるところとなりました。過ぎ去ってみれば1年は本当に早いですね。
思えば、この4年間、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の厄災の中で、厳しい制約を受けながら過ごさなければならないという、全く予期しなかった体験をしてきました。そして、感染予防対策（マスクの着用、手洗い・うがい、三密回避、換気など）に気を配りながら授業、学校行事等に取り組んできた日々だったのではないのでしょうか。このような状況下での学校経営、学級経営、教科経営等、本当にご苦労様でした。

そして、今春開校以来、地域に見守られて歴史と伝統を築いてきた下ノ加江小学校、幡陽小学校。大勢の子どもたちの成長を見守り150年の歴史を誇る下ノ加江小学校と102年の歴史を誇る幡陽小学校が長き歴史に幕を閉じます。創立以来両校で培ってきた「人を育てる」という使命は終止符を打ちますが、子どもたちはその精神を受け継ぎ、良き伝統と誇りを宝物に、夢の実現を目指していくと信じています。

さて、この春をもって退職される先生方、長い教員生活の中で多くの子どもたちを育てられてきたことでしょう。今春からは自由人となります。健康に留意しながら、第二の人生を謳歌してください。益々のご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。

現任校を離れ新しい職場へ赴かれる先生方、在任中は子どもたちのために、また清水の教育の発展・向上のためにご尽力を賜りまして、本当にありがとうございました。先生方が残された教育実践を財産とし継承していきたいと思っております。新任地でのご活躍をご期待しています。

引き続き清水市内小中学校に在職される先生方、この1年間、様々な事柄があったことでしょう。次年度につながる成果や課題も明らかになったことと思っております。実践を積み重ねたなかでの成果と課題です。次年度もそれらを活かしながら、清水の子どもたちのためにご尽力していただけることを期待しています。



「ほめる」と「やる気」

いくた じゅんいち
生田 淳一（福岡教育大学教授）

1 「ほめる」と必ず意欲が高まる？

一ほめ方・状況・個人差一

例えば溝川（2021）は、学習の失敗場面で子ども自身が失敗を認識しているにもかかわらず、教師からほめられた際の反応に着目した。

子育てや保育・教育の場面では、大人は子どもを励ますために「すごい」とか「よくがんばったね」という言葉をかけがちである。

それが、子ども自身は失敗したと認識していたり、できなかったと感じていたりする場面だったらどうだろうか。子どもの行動をていねいに見ずに、なんに対しても「いいね」「上手」と声をかけてしまっている可能性はないだろうか。

研究結果は、失敗場面でのほめ言葉に対する反応、受け止め方には個人差があり、「ほめる」ことがネガティブに受け止められる可能性があることを示している。つまり、子どものおかれている状況や実態に合っていないほめ言葉は逆効果になることもある。

その他にも、子どもの何をほめるか（努力、結果、能力・資質など）によって子どもの受け止め方に違いが出ることや、ほめられる状況（教師と一対一の場合とクラスメイトがいる場合）や個人の過去のほめられた経験などの要因が、ほめ言葉の受け止め方に影響するということが知られている。

要するに、「ほめる」ことさえすれば「やる気」が高まるというように、「ほめる」を魔法のようにとらえることはできないのである。

2 ほめるときのポイントーコミュニケーション・愛情・感情表出としてのほめ言葉ー

とはいえ、「ほめると逆にやる気をそいでしまうかもしれない」と強調し過ぎてしまうと、「ほめる」ことへの難しさだけが残ってしまう。

たとえば、言語賞賛回数が増えることで授業参加率は向上することが示されており（庭山・松見 2016）、「ほめる」頻度を増やすこと自体について否定的にとらえる必要はないと考える。また、最近の動機づけ研究からは、ネガティブ感情がその後の動機づけを高める可能性があることも指摘されており、「ほめる」ことをネガティブに受け止めることについては、できるだけ回避したいものの、必要以上にリスクと考える必要はないかもしれない。

では、どうすればよいか。一般的に「ほめる」がいわゆる強化子（学習理論の正の強化の刺激、報酬）として位置づけられがちであるが、加えて、コミュニケーションの中に位置づけてとらえる発想が必要になるだろう。私たちは、日常のコミュニケーションの中では、常にいろいろな要因を考慮して言葉かけを工夫しているはずだ。特に、学校場面で教師は、状況（学級の状況や人間関係、文脈）や個人差（個々の子どもの状態）を考慮しつつ、言葉かけをすることでコミュニケーションを展開している。

青木（2005）は、「ほめるという行動は、ほめ手から受け手へ一方的に行うわけではなく、受け手がほめられた体験として受け止めなければ成立しない」と指摘している。

その研究では、①就学前児は“すごい・上手”といった賞賛の「ほめ」、一年生は“ありがとう”という愛情・感情の「ほめ」を多く報告するということ（発達差）と、②就学前児では、“上手”、一年生では、“ありがとう”という「ほめ」を受けた群の自由時間の作業量が多いこと（動機づけの高まり）、を指摘している（表参照）。

表 「ほめ」のカテゴリーの定義と具体例（青木、2005から一部抜粋、筆者が一部加筆）

カテゴリー	定義	具体例
愛情・感情	愛情の深い関係・暖かさ・慰めの表現	・おめでとう ・ありがとう ・いただきます ・よかったね ・がんばったね ・頭をなでる ・笑ってくれる ・楽しい ・おいしい ・助かる
賞賛	名声・注目・尊敬を示す評価的判断	・えらいね ・いいね ・すごい ・上手 ・できた ・おりこう ・拍手 ・うまい

※このほかにも、意見・情報、サービス、物品、金銭というカテゴリーが示されている。

子どもの発達段階によっては、「上手」よりも「ありがとう」のほうが効果的なのである。

コミュニケーションの中に位置づけたとき、賞賛としてのほめだけでは十分ではない。むしろ、愛情・感情表出としてのほめ言葉が表出されることでコミュニケーションが進展し、お互いの関係性が築かれていく。機械的に「いいね」という言葉が繰り返されるだけではなく、教師と子どもの関係性の中で発せられる、予定調和ではない、ライブ感のある愛情・感情表出（「〇〇さん、ありがとう！先生、助かった」といった自己開示も含む言葉）も効果的なほめ言葉、子どもの「やる気」を高める言葉となっていく。「ほめる」を生かしながら、学級内のコミュニケーションを高めていきたい。

3 鍛ほめ福岡メソッドー福岡県の実践からー

このように、「ほめる」を行動強化の報酬ではなく、コミュニケーションの中で互いの関係を深めていく言葉として位置づけ、日頃の関係性の中から、その場の文脈を読み取り、子どもの特性も考慮しながら、「ほめる」を実践していくとよい。

福岡県で取り組まれている実践に「鍛ほめ福岡メソッド」がある。この取組の背景には、「ほめて育てる」というが、ただほめればよいというのではない」という反省があると聞いた。では、どんなときにほめるのか。「鍛ほめ福岡メソッド」では、目標設定の活動（Goal setting）、挑戦する活動（Challenge）、振り返る活動（Reflection）のGCRサイクルが強調されている。自己ベストに向かって挑戦する活動を引き出し（鍛える）、その活動について、その頑張りをおほめる（ほめる）ことに取り組んでいる。この取組は、どうほめるか、いつ、どんなときにほめるか、どんな子どもの特性に着目するかを考えるきっかけとなり、それにより多くの学校でカリキュラム・マネジメントが進み、教育活動の改善につながっている。今後の取組が進み、子どもの意欲や非認知能力の向上につながっていくだろう。

子どものどのような姿にどんな言葉かけをしていくのか。みんなで実践しながら「ほめる」と「やる気」を結びつけていければと考える。

＝引用文献＝

- ・溝川 藍「児童期における失敗場面でのほめ言葉に対する反応」『教育心理学研究』69巻、410頁～420頁、2021年。
- ・庭山和貴・松見淳子「自己記録手続きを用いた教師の言葉賞賛の増加が児童の授業参加行動に及ぼす効果—担任教師によるクラスワイドな“褒めること”の効果」『教育心理学研究』64巻、598頁～609頁、2016年。
- ・青木直子「就学前後の子どもの『ほめ』の好みが動機づけに与える影響」『発達心理学研究』16巻、237頁～246頁、2005年。

第3回教育研究所運営審議会～

3月7日（木）に第3回教育研究所運営審議会を開催しました。本年度の事業実績「1. 教職員の資質向上の取組、2. 転入教職員研修会の開催、3. 調査研究の推進、4. 豊かな心と健やかな体の育成の取組、5. 情報教育に関する事業、6. 資料収集に関する事業、7. 刊行物、8. 教育研究所運営審議会、9. 教育研究所連絡協議会」の9項目について報告、協議、意見交換を行いました。

なお、下記補助事業(1)(2)の実績については、研究集録「清水の教育」をご覧ください。

1. 教職員の資質向上の取組

【補助事業】

- (1)教育研究推進事業：教育研究集会〔全体会（講演） 部会研修〕の運営
 - ・教研推進委員会の開催（年6回 含一日教研準備会）
〔第1回 4/11 第2回 7/25 第3回 8/1 準備会 第4回 10/10 第5回 12/7 第6回 2/13〕
 - ・教研活動
〔①組織教研 4/19 ②一日教研 8/2 ③半日教研 11/1 ④総括教研（部会別開催）
*代表者会（資料配付）
*9部会事業実績について〕
 - (2)教育研究活動事業：研究協力校〔2校：三崎小・清水中〕の取組（事業実績）
2. 転入教職員研修会の開催〔年2回：①5/30 ②8/25〕
 3. 調査研究の推進
 - (1)外国語・英語教育（授業づくり・授業改善）についての調査研究
 - *高知県教育委員会指定事業「高知の魅力発信グローバル人材育成事業」に関わって
 - ・小中学校の授業・教育活動（授業づくり講座等）への参加・支援
 - ・市教研外国語部会・中学校教科会（外国語）への参加・支援
 - ・教材の開発・研究等
 - (2)【連携・支援】学力向上検討委員会
〔年2回：①9/22 ②2/8〕
 - ①各校の分析状況（正答率）について
 - ②問題別調査結果について
 - ③今後の学力向上に向けた取組について

4. 豊かな心と健やかな体の育成の取組

- ①定期的な学校訪問（児童生徒の状況把握・情報交換等）
- ②教育支援コーディネーター（あすなろネットワーク）連絡協議会の開催
〔年4回：①5/26 ②8/28（講師招聘） ③12/18（講師招聘） ④1月アンケート形式〕
- ③適応指導教室「あすなろ教室」への支援
*①③については、SSW・ORSC・YCC等と連携して、可能な対応・支援を行った。
（スクール・サポーター・アウトリーチ型スクールカウンセラー・ヤングケアラーコーディネーター）

5. 情報教育に関する事業

- ・HPの更新等…GIGAスクールサポーターによる支援

6. 資料収集に関する事業

- ・教育資料（図書・教材など）の購入・紹介
*市民図書館新規購入DVD（平和教材等）の紹介
*「平和・人権・道徳・防災教育」関係DVDの紹介と展示



7. 刊行物

- ①『研究所要覧』の発行
- ②『研究所だより』の発行（4月No.456～3月末No.469）
- ③研究集録「清水の教育」の発行（ファイル・CD）

8. 教育研究所運営審議会（年3回）

- ・第1回運営審議会
期日：6/8 「役員改選、事業計画について、意見交換」
- ・第2回運営審議会
期日：11/17 「教育研究所前期事業実績について、意見交換」
- ・第3回運営審議会
期日：3/7 「教育研究所事業実績について、意見交換」

9. 高知県教育研究所連絡協議会（年2回）

- ・第1回春季教育研究所連絡協議会（5/24 オンライン研修）
- ・第2回秋季教育研究所連絡協議会（11/22 中土佐町大会）

＝＜異動関係＞＝

この度の人事異動で奥谷 博史 先生（少年補導センター補導教員）と谷岡 大洋 先生（研究員）が異動となりました。

2人の先生方には、少年補導センター補導教員並びに研究員として、子どもたちの健全育成・非行防止等のための市内外のパトロールや教育課題の調査・研究、授業支援等に携わっていただきました。長い間本当にご苦労様でした。新任地での活躍をご期待しています。

奥谷 博史 先生（少年補導センター補導教員）

4年間お世話になりました。
現場を離れ、清水の子どもたちや地域を見ることができましたことは、とても貴重な経験になりました。本当にありがとうございました。

谷岡 大洋 先生（研究員）

2年間という短い間でしたが、本当にお世話になりました！
特に、各校で参加させていただいた外国語の授業はとても楽しく、自分にとっても大きな経験になりました。！ Thank you so much!!

